時事新報

第千三百七十二號
明治十九年九月四日 土曜日
舊丙戌八月七日（丁、卯）
日出午前五時三十五分
日入午後六時二十三分
月出午前十一時三十三分
月入午後十時二十四分
滿潮午前九時三十分
滿潮午後九時五十一分
（西暦一千八百八十六年）

時事新報

政策二つ進むと退くとのみ

一家を保つは人生の大事なり一國を維持するは一家を保つよりも更らに一層の大事あり一家れ事を處そるに當り偶ま其擇ぶ所を誤まることあれば其影響の及ぶ所一家一時の禍利と滅ずるのみならず或は遂に家の滅亡を招くが如きことあるにならず家事と處するは實に困難あるものといふべきなり併しながら家事大なりといふといへどもあれを國事に比すれば尚は甚だ小なりといへども大事は然らず今日一歩の誤まる所遂に永世の禍を遺して人力の以てこれを如何ともすること能はざるに終ること多し家は小舟の如く國は大汽船の如き人あり小舟に棹して河流を溯らんとする偶ま其棹の操つり巧みあらずして或は沙角に突掛り或は橋杭に衝突するやうの事あるとも其結果必ずしも大ならず唯更らに一棹して沙角と退き廻りて橋杭を避くるの勞と徒費そる位のものよ過ぎざるべし然れども大汽船の海峡と航通するものは然らず船長の不熟練なる行くべからざるの路に船を行り忽然數歩の前よ岩礁の横はるを見て扨ては航路を誤まりたり退行そべしとて即時に船体の進行を止めんとするも惜いかな非を悟ること既に後れたり汽船は中々船長れ心の儘に命令を奉ずるものにあらず船長が今正よ號呼叫喚する其際ゐ悠然前に進んで岩角ゐ一觸し潮水滿船數分時間の後には船長以下數百の人員を載せたるまゝに數十百仭の海底に沈沒すべく再び人間世界に其消息を通せざるべし若し國事を管する者にして家事を管する者の所爲を學び國の大なるを忘れて我力の小なると思はゞ臨機應變浮沈進退其の日〳〵の空合を窺ふて都合次第に當面の國事を處置し姑息以て此繁劇多難の世を渡らんとすることもあらば遂い早晩必ず前の船長と其運命を同ふするの日あらんこと我輩の信じて疑はざる所なり

國の外交上に豫め政策の一定を要するは我輩の多辯を須ひざる今我日本國が外交の關係を有そる國々は歐洲の諸大國北米合衆國及び西隣の支那朝鮮等を以て最も重要あるものとし而して此等の諸國に對し其國柄よ應じて夫々豫め我外交上の政策を一定そるの大切なるは何れも同一樣よして彼此輕重の差ゐるべからずといへども然れども近來東洋の東隣風雲豫に尋常ならず時よ雷鳴電光を耳目にそる折柄支那朝鮮に對する我政策を豫定するの一事は目下緊要中れ最も緊要あるものといふも敢て不可なかるべし今此二國に對するの政策と定むるに當り其擇ぶ所左の二策に出でざ即ち一は退讓策にして一れ進取策是れあり退讓策を主張する者の說ゐ曰く西洋人が電氣蒸氣と利用するの甚ださしき海陸道路の遠きを見ず遂に東洋を以て平時互ひに其國力の優劣を試驗するの競爭場と爲すに至れり東洋諸國の國力の乏しき西洋諸大國が交〳〵來て其威權を弄するゐ任せてこれと如何ともそると能はず此際若し東洋諸國が一致親和して働くまで內を守るに力と盡すことあらば或は尚ほ國命の幾年と長うするを期し得べしといへども若し否らずして互ひに自から反目疾視するが如きあともあらんには所謂鷸蚌の爭ひ故らに漁夫の利を作るものよして東洋の全土は明日と待たずして東洋人の有よあらざるべし今日本が支那朝鮮ゐ對するれ政策にも唯須らく此意を體し二國人の不知不明ある時に怨をべからざるの擧動を爲して我れゐ對することなりとも是を唯其不明不知の致す所なりとして我氣を抑へ其怨をべからざるを恕して一日も長く三國の和親と維持せんこと自他均霑東洋全体の幸福たるべしとみきに反して進取策を主張する者は曰く東洋三國の平和親睦は東洋三國の爲めに甚だ希望すべき所なりといへども此平和親睦の甚だ希望そべき道理を合點して之を希望する者れ目下唯日本人一人のみにして他の支那朝鮮二國の人と決して斯る道理と合點すること能はず偶ま日本人が親愛れ言語擧動を爲すを見れどこれを以て東洋全体の平均を維持え三國の國運を長うせんとするの良心より出でたるものとは思ぐずして却て之を執て卑しむべき臆病心より出でたるものと爲し日本與みし易きのみ日本恐るゝに足らざるありとて早くも彼我の間よ存在する大切の約束を破り再びこれを誓ふて再び又みきを破るあど其擧動の亂暴狼藉なる如何ゐ理よ明かに堪忍に強き日本人にても到底堪忍え得ざるの場合に臨むことあり必竟彼きの不知不明に因るといへども長く此不知不明のまゝよ放棄え置く時は獨り日本の爲めに不利あるのみならず實に東洋三國の爲めに救ふべからざるの禍害を來たすべえ然るに退讓の策は到底以て此不知不明と回へしく知且明ならしむること能はざるものとすれば更らに其方向と轉じて進取の策と採り毅然と彼をして大に敬畏の心を喚起さしむるに至て始めて以て其不知不明と回へさしむるの機會を得べきなり果して然らば東洋三國は唯我日本が退讓進取孰れの政策と採用するの一事に由て其運命の長短を決するものなりと以上兩論の中に就き我輩は固より進取策の論よ同意そるものにして兼ねて又全國人の我輩に左袒そることと希望するものあり

官報

○流行地虎列剌

流行地	月日	新患	新舊死亡
京都府 内上下兩京區ニ新患三人新舊死亡二人	九月一日	二十一人	十八人
大坂府 内西區西成郡ニ新患七十六人新舊死亡八十一人	同	百十六人	百十七人
神奈川縣 内横濱區ニ新患九人新舊死亡五人	同	六十五人	三十五人
兵庫縣 内神戸區ニ新患二人新舊死亡二人	同	二十七人	二十二人
埼玉縣	同	十一人	十一人
千葉縣	同	四十六人	十九人
茨城縣	同	四人	四人
三重縣	同	四人	三人
山梨縣	同	六人	七人
青森縣	同	三十人	十二人
秋田縣	同	七十八人	四十六人
福井縣	同	百九人	七十二人
石川縣	同	百十四人	五十六人
富山縣	同	百八人	四十一人
岡山縣	同	二十五人	十六人
廣島縣	同	七十人	六十人
和歌山縣	同	二十一人	十四人
[illegible]縣	同	十三人	十五人
福岡縣	同	十人	七人
函館支廳	同	五十人	二十一人
小計新患九百二十八人新舊死亡五百九十六人			
長崎縣 内長崎區ニ新患十三人新舊死亡十五人	八月三十一日	二十四人	二十五人
新潟縣 内新潟區ニ新患五人新舊死亡二人	同	百四十五人	七十七人
三重縣	同	六人	二人
長野縣	同	九十二人	七十二人
青森縣	同	二十人	四人
山形縣	同	五十三人	十九人
福井縣	同	百四人	七十五人
石川縣	同	九十九人	四十七人
富山縣	同	百十二人	五十七人
島根縣	同	五十八人	二十七人
愛媛縣	同	十五人	十八人
佐賀縣	同	十六人	十四人
小計新患七百四十四人新舊死亡四百三十八人			
合計新患千六百七十二人 新舊死亡千二十六人			

○流行地外虎列剌　北海道廳去月三十一日新患三十六人、新舊死亡二十五人」群馬縣去る一日新患一人」栃木縣去月三十一日新患四人、新舊死亡四人」愛知縣去月三十日新患三人、新舊死亡一人」靜岡縣去月三十日より同三十一日迄新患三人、死亡一人」岐阜縣去月三十一日より去る一日迄新患三人、新舊死亡四人」福島縣去月三十一日新患六人、新舊死亡五人」宮城縣去月二十七日新患一人」鳥取縣去月三十一日新患八人、新舊死亡七人」徳島縣去月三十一日新患十二人、新舊死亡五人」大分縣去月二十五日新患十二人、新舊死亡二人」

○虎列剌治療法の發明　伊國有名のバクテリヤ研究者プロフエッスール、ペロンシトーは此の頃同國チユレン府の醫學士會院よ於て近時虎列剌治療法と發明せし醫學生ギヨルダノー氏の試驗成蹟と報告せり今其の要領と聞くにギヨルダノー氏れ治療法は探針を以て防腐劑と腸內に注射するに在て既に之を數名の患者に實試せしに實に驚くべく爭ふ可らざる效果を奏しるりと去七月十三日羅馬發の報に見ゆるり（以上本年九月三日官報）

雜報

○獸醫養成　我邦の獸醫は現に一萬餘人もある趣きあれども此等は從來俗にハクラクと唱へ多くれ下等無智の輩にして固より醫術を知るに由あければ牛馬等れ病を治するとも出來ざる有樣ありしが今や肉食も一般よ行はれ牧場も益々開け又耕牛馬の使用も追々增加するの時に當り斯る有樣なるときは間接には人類の用便を缺くと掛からずとて近來其筋にても大ゐ之が改良を加るの計畫を爲し農林學校三田獸醫學部に於て本科生の外常に速成生徒百數十名宛を養成して卒業の上は各府縣へ分配して各々獸醫の業を執らしめ尚本科生卒業の上は是又各府縣官の職に就き一府縣下の獸醫を管理せしめんとの計畫もある由あれば漸次改良の緒よ就くあらんと云ふ

○淸國市場日本品の景況　去月十八日付上海よりの通信ゐ曰く當地は去十三日ゟ暴風吹續き昨今益々劇しく未だ止むべき模樣あしく○兼て三十日內に閉業を達せられ居りたる東洋茶店は何れも十五日限り閉店せり○目下日本在留人中に勸工場を設立せんと目論見居るものある由已に兩三年前ゐ此計畫ありしが發起人微力にして遂に立消となれり當地は獨り支那貿易よ止まらず英佛の郵船も毎週の發着あれば支那向歐洲向共ゐ其需要少なからず至極面白き計畫あるべし○紀州フラチル追々販路と開くの姿なり色合は紫黃紅茶等の無地物を好み相場は一ヤルド十錢內外の品賣れ口なるしと云ふ○近頃長崎地方浙口及蘇州邊に於て日本毛太と稱する土佐半紙の需要追々增加の勢なり其高麗產の毛太紙よ似たるより一般に日本毛太と稱そるも其質土佐紙に劣あらず長凡四尺幅二尺五寸許にして重に衣服の包紙よ用ふる由土佐紙は柔にして丈夫故包紙には至極適當せりと雖ども目下輸入する所のものは特に包紙ゐ製したるものに非ざれば厚薄長短略一樣あらず未だ全く好評を得に至らず幸ひに即今土佐半紙改良の計畫ある由なれば該包紙ゐも一層の改良を施さば一層の販路と開くべしと信ず○日本手拭地も追々販路を開き就中長口筋各港に於て需要多し尤も下等品ゐて一反三十四五錢迄

位の品向きロ
あく需には朝
代價れ廉なる
○肥前佐世保
景況等を登載
皆實地と知ら
て今實地に就
港は南方に開
四方あり深さ
今回鎭守府を
め係官の出張
一同歸京した
惡疫を避けて
と變り西洋酒
時よ開店せり
外國曖昧ある酌
本月十日海軍
より土官水兵
換して依然さ
患者は右の一
し是れ全く海
官の注意とに
たる爲よ斯く
の建築事業は
は早く事業の
書等は縣官并
々電信局も開
諸色は全躰高
利を營みたる
○靜岡近信
地へ鐵道局員
掛園部正二郎
でありよし既
たり○富縣の
よて本縣屬鐵
しるる由又舊
んとを請願す
勢等の調書を
たるよしと同
○山形通信
去る二十三日
々新潟千歳園
任知事は去る
み同二十二日
中賜暇を以て
他歴史編纂用
依賴したる由
て新潟に赴况
部長よ任せら
縣常置委員會
流行に付き臨
爲め去る廿三
院費一萬三千
決し警察本部
○北畠道龍氏
中なるが同氏
場に於く演說
山形警察署は
道せしが去る
香宗我部騎兵
願者四十三名